



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月10日

上場会社名 日本プリメックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2795 URL <https://www.primex.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)中川 善司
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)真岡 厚史 (TEL)03(3750)1234
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	4,274	15.1	325	45.1	416	145.6	264	134.5
2021年3月期第3四半期	3,712	△27.6	224	△51.9	169	△64.0	112	△63.2

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 260百万円(55.9%) 2021年3月期第3四半期 167百万円(△43.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	50.19	—
2021年3月期第3四半期	21.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	8,612	6,359	73.8	1,208.38
2021年3月期	8,135	6,204	76.3	1,178.87

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 6,359百万円 2021年3月期 6,204百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0 00	—	20 00	20 00
2022年3月期	—	0 00	—		
2022年3月期(予想)				20 00	20 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,620	8.3	400	27.8	438	14.4	311	30.1	59.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	5,523,592株	2021年3月期	5,523,592株
2022年3月期3Q	260,802株	2021年3月期	260,802株
2022年3月期3Q	5,262,790株	2021年3月期3Q	5,262,790株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、決算短信(添付資料)「1. 当四半期報告書に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結会計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が下火となり、10月以降の小売業の販売は前年同期を上回るなど、感染終息を見越した設備投資は増加傾向にありましたが、東南アジアからの半導体などの部品供給不足は依然として継続することとなりました。

当会計期間中の受注分につきましては、前期より積み増した在庫、各メーカー・代理店在庫の放出により、一定量の出荷を確保することが出来ましたが、欧米諸国をはじめとしたオミクロン株感染の急拡大から今後の展望につきましては、予測できない状況となっております。

① 売上高

売上高は、42億74百万円と、前年同四半期と比べ5億61百万円(15.1%)の増加となりました。なお、商品群別業績は次のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間における商品群別売上高は、ミニプリンタメカニズムは1億12百万円(前年同四半期と比べ16百万円(16.6%)の増加)、ケース入りミニプリンタは24億11百万円(前年同四半期と比べ2億87百万円(13.5%)の増加)、ミニプリンタ関連商品は6億11百万円(前年同四半期と比べ1億59百万円(35.2%)の増加)、消耗品は3億35百万円(前年同四半期と比べ36百万円(12.3%)の増加)、大型プリンタは82百万円(前年同四半期と比べ2百万円(3.4%)の増加)、その他は7億21百万円(前年同四半期と比べ59百万円(9.0%)の増加)となりました。

② 売上総利益

当第3四半期連結累計期間の売上総利益は11億74百万円となり、前年同四半期と比べ1億27百万円(12.2%)の増加となりました。

③ 販売費及び一般管理費

当第3四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は、8億48百万円となり、前年同四半期と比べ25百万円(3.2%)の増加となりました。

④ 営業利益

当第3四半期連結累計期間における営業利益は3億25百万円となり、前年同四半期と比べ1億1百万円(45.1%)の増加となりました。

⑤ 経常利益

当第3四半期連結累計期間における経常利益は4億16百万円となり、前年同四半期と比べ2億46百万円(145.6%)の増加となりました。

⑥ 親会社株主に帰属する四半期純利益

税金等調整前四半期純利益は4億16百万円となり、前年同四半期と比べ、2億46百万円(145.6%)の増加、税効果会計適用後の法人税等負担額は1億52百万円となり、前年同四半期と比べ、95百万円(167.5%)の増加となりました。その結果、当第3四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は2億64百万円となり、前年同四半期と比べ、1億51百万円(134.5%)の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.9%増加し、65億20百万円となりました。これは、主として受取手形、売掛金及び契約資産が1億78百万円、原材料及び貯蔵品が1億24百万円増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.7%増加し、20億91百万円となりました。これは、主として投資有価証券が68百万円増加したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて5.9%増加し、86億12百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて21.7%増加し、18億20百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が3億22百万円増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.6%減少し、4億32百万円となりました。これは、主として退職給付に係る負債が12百万円減少したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて16.6%増加し、22億53百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.5%増加し、63億59百万円となりました。

これは、主として親会社株主に帰属する四半期純利益2億64百万円の計上と剰余金の配当1億5百万円による利益剰余金の増加1億58百万円によります。

1株当たり純資産は、前連結会計年度末に比べて29円50銭増加し、1,208円38銭となりました。

また、自己資本比率は、前連結会計年度末の76.3%から73.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度の連結業績予想につきましては、2021年3月期決算短信(2021年5月13日開示)により公表いたしました通期の数値に変更はありませんが、今後の進捗を精査した結果、業績予想に変更が生ずると判断した場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,296,215	4,352,137
受取手形及び売掛金	1,301,717	-
受取手形、売掛金及び契約資産	-	1,480,609
商品及び製品	321,193	384,892
原材料及び貯蔵品	166,740	291,068
その他	14,687	12,508
貸倒引当金	△1,302	△296
流動資産合計	6,099,252	6,520,919
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	219,485	212,324
機械装置及び運搬具（純額）	9,807	8,002
工具、器具及び備品（純額）	28,290	34,185
土地	956,574	963,918
リース資産（純額）	105,931	117,981
有形固定資産合計	1,320,089	1,336,412
無形固定資産		
その他	25,455	21,782
無形固定資産合計	25,455	21,782
投資その他の資産		
投資有価証券	563,632	632,348
繰延税金資産	113,707	84,248
その他	19,536	22,607
貸倒引当金	△5,746	△5,796
投資その他の資産合計	691,129	733,407
固定資産合計	2,036,675	2,091,601
資産合計	8,135,927	8,612,521

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,291,208	1,614,206
未払法人税等	41,454	68,343
賞与引当金	47,912	12,056
その他	115,907	125,978
流動負債合計	1,496,482	1,820,584
固定負債		
役員退職慰労引当金	175,319	170,173
退職給付に係る負債	229,957	217,835
その他	30,002	44,473
固定負債合計	435,278	432,481
負債合計	1,931,761	2,253,066
純資産の部		
株主資本		
資本金	393,997	393,997
資本剰余金	283,095	283,095
利益剰余金	5,679,578	5,838,468
自己株式	△158,900	△158,900
株主資本合計	6,197,771	6,356,661
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,394	2,794
その他の包括利益累計額合計	6,394	2,794
純資産合計	6,204,165	6,359,455
負債純資産合計	8,135,927	8,612,521

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	3,712,842	4,274,245
売上原価	2,665,539	3,099,694
売上総利益	1,047,303	1,174,550
販売費及び一般管理費	822,866	848,858
営業利益	224,436	325,692
営業外収益		
受取利息	1,418	351
受取配当金	21,144	23,947
為替差益	-	62,835
その他	2,058	4,995
営業外収益合計	24,620	92,130
営業外費用		
支払利息	1,467	1,489
為替差損	78,047	-
その他	10	40
営業外費用合計	79,525	1,530
経常利益	169,531	416,291
特別損失		
固定資産除却損	26	58
特別損失合計	26	58
税金等調整前四半期純利益	169,505	416,233
法人税、住民税及び事業税	44,944	121,040
法人税等調整額	11,919	31,048
法人税等合計	56,863	152,088
四半期純利益	112,641	264,145
親会社株主に帰属する四半期純利益	112,641	264,145

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	112,641	264,145
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54,531	△3,599
その他の包括利益合計	54,531	△3,599
四半期包括利益	167,173	260,545
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	167,173	260,545
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより一部の取引については従来顧客から受け取る対価の総額を収益として認識していましたが、顧客への財又はサービスの提供における当社グループの役割が代理人に該当する取引については、顧客から受け取る額から仕入先に支払う額を控除した純額で収益を認識するようにしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高及び売上原価が35,845千円それぞれ減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」

(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

該当事項はありません。